

教育研究業績書

2018年05月14日

所属：教育学科

資格：准教授

氏名：宮澤 是

研究分野	研究内容のキーワード
人文学	米文学、関連文学理論・文学批評・書誌・文献、異文化間コミュニケーション・翻訳・通訳
学位	最終学歴
文学修士, 文学士	関西学院大学大学院 文化研究科 博士課程 満期退学

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
1. <i>O Pioneers!</i>	1990年3月	(上藤礼子、宮澤 是共編、旺史社) 20世紀初頭から第二次世界大戦後まで活躍したアメリカの女流作家Willa Catherの中西部を舞台にした作品群の第一作 <i>O Pioneers!</i> (1913)の第一部“The Wild Land”を註釈したものである。語法や読み取りにくい構文などに日本語訳を中心にした詳しい註釈をつけ、比較的容易に読み進められるようにして、作者の平明で美しい文体と主題を味読できるようになっている。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 英語検定1級	1985年08月	
2. 高校一級教員免許状 (英語)	1984年03月	
3. 中学一級教員免許状 (英語)	1982年03月	
4. 高校二級教員免許状 (英語)	1982年03月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 異相の時空間—アメリカ文学とユートピア	共	2011年5月	英宝社	大井浩二監修、相本資子、勝井伸子、宮澤是、井上稔浩編著 「ユートピアへの夢—『エンジェル・アイランド』の場合」と題して、シャーロット・パーキンズ・ギルマンの『ハーランド』の前年に出版されたアイネス・ヘインズ・ギルモアの『エンジェル・アイランド』を取り上げ、それぞれが描くユートピアを比較検討して両者のフェミニストとしての意見を考察した。(pp. 175-90)
2 学位論文				
3 学術論文				
1. アメリカのあるべき姿 —ギルマンの『ハーランド』を読む— (査読付)	単	2002年03月	『英米文学』(大井浩二教授退職記念号) 関西学院大学英米文学会 46巻 2号	ギルマンの『ハーランド』は、女性だけの国にまぎれ込んだ男性3人の体験を回想するユートピア小説である。処女生殖によって女性だけが生れるこの国で、いかに理想的な社会が運営されているかを示し、家父長制度を揶揄するユーモラスな物語になっているが、その背後には作品が書かれた当時もはやされた優生学の影響が見られ、フェミニストのギルマンが描く理想社会も当時の白人優位文化の上に成り立つものであった。(pp. 112~127)
2. ジャズ・エイジの寓話としての <i>Tales of the Jazz Age</i> —時間の流	単	1996年03月	<i>Mukogawa Literary Review</i> (武庫川女子大学英	F.Scott Fitzgeraldの第二短編集 <i>Tales of the Jazz Age</i> (1922) に収められた作品では、流動する社会

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
れと変化ー			文学会) No. 32	や人間の抱く夢が時間の流れによって常に変化に晒され、同じ状態ではあり得ない。これは作者の時間意識に根ざしている。そしてこの意識はジャズ・エイジと呼ばれた20年代に限らず、アメリカ文学の特徴の一端を表しており、作者はこれらの作品を一種の寓話として現代アメリカの姿を浮き彫りにしている。(pp. 41~60)
3. <i>Flappers and Philosophers</i> ー 恋愛と結婚の現実ー	単	1994年01月	<i>Mukogawa Literary Review</i> (武庫川女子大学 英文学会) No. 30	F. Scott Fitzgerald (1896~1940) の最初の短編集 <i>Flappers and Philosophers</i> (1920) に収められている作品には様々な恋愛が描かれているが、その多くはうまく行かず、女性たちは結婚に至って破滅したり自立の道を選ぶ。そこには作者の女性像と彼自身の結婚に至るまでの苦い経験が反映されており、幸せな結婚をしたのにもかかわらず作者の否定的な結婚観を読みとることができる。(pp. 75-88)
4. “The Offshore Pirate” 「ありそうにない話」の真実	単	1992年03月	神戸学院女子短期大学 紀要 第25号	F. Scott Fitzgeraldの“The Offshore Pirate” (1920) は彼の最初の短編集 <i>Flappers and Philosophers</i> (1920) に収められている。この作品は若い男女のロマンスで非常にファンタジックな書き方になっている。しかし作者は夢のようなロマンスの中にヒロインに代表されるフラッパーの行く末や、作者が生涯を通じて書き続けた金持ち階級の一種独特の性質を醒めた目で見つめ、ロマンスの中だからこそそれらを際立たせている。彼の作品で繰り返し扱われるテーマの原型が、従来軽くつまらないと言われたこの作品にも見られるのである。(pp. 83-96)
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 民主主義のための教育ー危機に瀕したプロジェクト？ー	共	2014年3月	武庫川女子大学大学院 教育学研究論集 第 9号 pp. 125-132	RUD, A. G. 著 宮澤是記 ワシントン州立大学教育学部と西宮市教育委員会共催の第19回教育交流セミナーで、教育学部長A. G. ラッド氏が行った基調講演を翻訳したもの。アメリカの人種の背景や高齢化などの影響を受けて公教育が受けている圧力を示唆し、教育者がいかに協力しあい、活気に満ちた民主主義のために教育をするべきかを訴えている。
2. 「姉妹校交流活性化と国際理解」	単	2010年6月28日	平成22年度西宮市国際教育推進センター校 国際教育研究発表会（ 西宮市立上ヶ原小学校）	平成22年度西宮市国際教育推進センター校の国際教育研究発表会で、教育学科の学生たちが3、4、6年のクラスで姉妹校交流活動を行う公開授業の指導、引率をし、全体会で「姉妹校交流活性化と国際理解」と題して講演し、教育学科2年生がムコガワ・フオート・ライト・インスティテュートに留学中、上ヶ原小学校、高木小学校、西宮浜小学校と姉妹校関係を結んでいるフィンチ小学校、シェリダン小学校、ハンブレン小学校で姉妹校交流活動を行っている様子を報告し、こうした交流が双方の子どもたちのために異文化に対する関心を深めることになり、国際理解教育にとって意義があると指摘した。
3. “International Understanding: Teaching Language and Culture to Elementary School Students”	単	2009年11月12日	「国際教員養成プロジェクト」第3回シンポジウム (ホイットワース大学)	「国際教員養成プロジェクト」第3回シンポジウムは、ホイットワース大学が毎年開催している“International Education Week”の中で行われ、“Building Bridges and Breaking Down Barriers: Practical Applications”というテーマのもと、10のテーブルに分かれての口頭発表の一つを担当し、日本の小学校における「外国語活動」実施に至るまでの経過と、日本の小学校での英語教育の課題を国際理解教育と関連づけて発表し、参加者の質問に答え、また意見交換の司会を行った。
4. 「地域のニーズに応え、信頼される教職実践力を育む教職課程の課程認定後の事後評価法に関する調査研究ー特に小学校教職課程に係わる課程認定後評価指標を主たる対象として」	共	2008年3月	武庫川女子大学教職課程事後評価検討委員会	文部科学省の委託事業「教職課程の課程認定後の事後評価のあり方に関する調査研究事業」に本学が採択された際、「教職課程認定事後評価法検討委員会」のメンバーとして小学校や教育委員会で行った聞き取り調査の報告書である。
5. “Teacher Training Course and P	共	2008年12月9	「国際教員養成プロジ	教育学科がアメリカワシントン州スポケーン市の姉

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
Practice Teaching in Japan”		日	「シム」第2回シンポジウム（ゴンザガ大学）	妹校提携大学であるゴンザガ大学、イースタン・ワシントン大学、ホイットワース大学と立ち上げた「国際教員養成プロジェクト」のコーディネータとして、出野務学科長とともに基調講演を行い、文部科学省の免許更新制の発足、教職実践演習の必修化を中心に、日本の教員養成がどのように変化しているかを交えながら、教育実習の現状と改善の視点を報告した。
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
	日本アメリカ文学会 F. Scott Fitzgerald Society 日本スコット・フィッツジェラルド協会 (F.Scott Fitzgerald Society of Japan) 日本英文学会